

北海道大学獣医学部と札幌市円山動物園との交流実績について（令和3年度）

No	件名	内容	実績（数値等）
1	講義「動物福祉学」	動物診療担当職員が、展示動物の動物福祉について講義を行った。	41名（5年生）（5月19日）
2	化学物質感受性の動物種差に関する共同研究	2006年から異物代謝能に関する共同研究を実施しており、円山動物園から肝臓及び血液などを提供している。学会発表なども共著で行っている。	試料の提供（年12回）
3	雌雄判定	2006年から、円山動物園からの雌雄判定依頼により、血液や羽、毛などを用いてPCRによる雌雄判定を行っている。	雌雄判定（分析依頼）、必要に応じてその都度実施
4	講義（動物園学）	「動物園学」において、1回分の授業（講義）をしていただいている以外に、1回分の授業で学部学生を受入れていただき、主に動物病院での診療業務ならびにホッキョクグマ館とゾウ舎での飼育方法やハズバンドリー・トレーニングについて説明いただいた。	22名（3年生）の受入れ（年1回）
5	第14回アジア保全医学会・第27回日本野生動物医学会2021年合同大会における市民公開講座開催	第14回アジア保全医学会・第27回日本野生動物医学会2021合同大会の一環として市民公開講座「すすむ動物園の研究」を開催し連携内容についての発表を行った。	212名の参加。円山動物園、北海道大学獣医学部双方から2名ずつ発表。
6	ニホンザルの人工授精に関する共同研究	おびひろ動物園のオスから円山動物園のメスへの人工授精を行い、現在、妊娠鑑定待ち。	11/24おびひろ動物園オス6頭から採精 11/24円山動物園メス2頭へ人工授精
7	ユキヒョウの糞中ホルモン測定に関する共同研究	円山動物園のユキヒョウの発情周期を把握するため糞中性ホルモンを測定し性ホルモンの動態を把握する研究を行う。	資料の提供（経時的）
8	アジアゾウの雌由来粘液に関する共同研究	アジアゾウ雌の外陰部より排出された粘液の性状や精子の有無などを検査し、発情周期との関連を検討する。	資料の提供（経時的）
9	アジアゾウの共同研究	アジアゾウ糞便中の微生物叢について、定期的モニタリングを実施している。	試料の提供（年12回）

北海道大学獣医学部と札幌市円山動物園との交流実績について（令和3年度）

No	件名	内容	実績（数値等）
10	ゾウヘルペスウイルスの定期検査と共同研究	ゾウヘルペスウイルスの定期検査を行なっている。ゾウヘルペス再活性化マーカー探索について、研究を実施している。	試料の提供（年4回）
11	動物園動物の微生物叢解析	動物園動物の糞便内微生物叢を網羅的に検出するための共同研究を実施している。	試料の提供（年2回）
12	アザラシ寄生線虫に関する共同研究	アザラシから検出された線虫種の形態・分子同定を実施している。	試料の提供（1回）
13	クロオオアブラコウモリの微生物叢解析	クロオオアブラコウモリが保有する微生物叢の解析を実施している。	試料の提供（年2回）
14	ニホンザルの診断(超音波画像診断装置による検査)	ニホンザル（雌、33歳）の外陰部からの出血の原因について、滝口教授の往診により、X線、超音波画像診断装置ならびに硬性鏡で診察を実施した。	5月13日
15	ニホンザルの診断(超音波画像診断装置による検査)	ニホンザル（雌、24歳）の外陰部からの出血の原因について、滝口教授の往診により、X線、超音波画像診断装置ならびに硬性鏡で診察を実施した。	10月21日
16	講義「獣医学概論」	動物診療担当課職員が、展示動物の動物福祉について講義を行った。	8月18日に実施
17	動物園動物の死因究明とこれに基づく飼育管理の向上（共同研究）	平成27年度より、臨床的に死因究明が必要な飼育動物について病理解剖を行っている。	病理解剖と組織学的診断（年12回）
18	アジアゾウの餌用樹木における重金属及び農薬等の調査（共同研究）	動物園に提供（寄付）された樹木における重金属及び農薬の含有量と、ゾウの血中重金属濃度の測定を行った。	8月 農薬測定 12月 重金属測定